

- 問1 1857年、イギリスに雇われていたインド人兵士たちが、弾薬の包み紙に牛や豚の脂が塗られているという噂などをきっかけに、信仰上の理由から反発して引き起こした大規模な反乱を何といいますか。 (2024年 栃木県公立入試 類似)
1. アヘン戦争 2. 義和団事件 3. 太平天国の乱 4. インド大反乱
- 問2 1858年、幕府の大老であった井伊直弼はアメリカとの間にある条約を結びました。この条約の締結が、尊王攘夷運動を激化させるなど国内の大きな反発を招いた主な理由として最も適切なものを選びなさい。 (2025年 青森県公立入試 類似)
1. 開港場を下田と函館の2港に限定したから 2. 朝廷の許可を得ずに日米和親条約を結んだから 3. 朝廷の許可を得ずに日米修好通商条約を結んだから 4. 日本に関税自主権がある平等な条約だったから
- 問3 1842年、江戸幕府はそれまでの強硬な対外政策を改め、外国船に燃料や水を与えて退散させる「薪水給与令」を出しました。この政策転換の直接的な背景となった、イギリスが清を破ったアジアでの出来事として正しいものはどれですか。 (2021年 奈良県公立入試 類似)
1. ロシアの南下政策 2. 日清戦争 3. ペリー来航 4. アヘン戦争
- 問4 1853年、アメリカがペリーを浦賀へ派遣し、日本に対して強く開国を求めた当時の歴史的な背景として、最も適切な理由はどれですか。 (2025年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 日本で産出される銀を独占的に輸入することで、世界的な銀不足を解消しようとしたから。 2. 太平洋での捕鯨や中国との貿易のために、石炭や食料を補給する拠点を日本に確保したかったから。 3. キリスト教を日本に広めることで、アジアにおけるアメリカの文化的影響力を強めたかったから。 4. ロシアによる日本南下を防ぐために、アメリカが日本を軍事的な同盟国にする必要があったから。
- 問5 1850年代のアメリカにおいて、大西洋を約7ヶ月かけて渡る従来のルートに対し、太平洋を約18日間で横断する新航路の構想が検討されていた。この航路を実現するために、日本に対して行われた要求の内容として正しいものはどれですか。 (2023年 山口県公立入試 類似)
1. 太平洋を横断する民間船舶を保護するため、日本の沿岸に最新の灯台を設置すること 2. 蒸気船が航行を続けるために必要な石炭の補給地として、日本の港を開放すること。 3. アメリカから日本へ向かう航路周辺での、大規模な海底炭鉱の開発を許可すること。 4. 太平洋の安全を確保するために、アメリカの軍事顧問団を江戸に常駐させること。
- 問6 19世紀のイギリスにおいて、産業革命の進展にともない発生した社会状況の説明として、背景や因果関係が最も正しいものはどれですか。 (2025年 宮城県公立入試 類似)
1. 工場の機械化により生産力は飛躍的に向上したが、資本家と労働者の間に大きな格差が生じ、不衛生な住環境や児童労働が深刻な問題となった。 2. 世界恐慌の影響で失業者が急増したため、労働者は政府主導の公共事業に従事することで、労働組合を解散して国家の近代化に協力した。 3. ルネサンスによる人間中心の考え方が普及した結果、労働者の権利が法律で即座に保護され、産業革命の初期から安定した生活が送られた。 4. 宗教改革によって教会の権威が低下したことで、労働者は伝統的な生活習慣を捨て、都市部から農村部へと大規模な移住を開始した。
- 問7 19世紀半ば、イギリスが清（中国）に勝利したアヘン戦争の結果は、日本を含む東アジア諸国に大きな衝撃を与えました。この戦争が日本に与えた歴史的な影響として最も適切な説明は、次のうちどれですか。 (2018年 岩手県公立入試 類似)
1. アメリカ合衆国の仲介により、日本は清とともにヨーロッパ諸国との不平等条約を改正した。 2. イギリスと協力してロシアの南下を防ぐため、日英同盟を締結する直接のきっかけとなった。 3. 清の支配力が強まったことで、日本は清への朝貢貿易を拡大させる方針をとった。 4. 外国の侵略に対する備えが必要であるという認識が広まり、国防意識が高まる契機となった。
- 問8 井伊直弼が結んだ日米修好通商条約は、日本にとって不利な内容を含む不平等条約であったとされます。その不平等な内容の説明として正しいものを選んでください。 (2026年 京都府公立入試 類似)
1. アメリカに領事裁判権（治外法権）を認め、日本に関税自主権がなかったこと 2. アメリカに領事裁判権（治外法権）はなく、日本にのみ関税自主権があったこと 3. 日本に領事裁判権（治外法権）を認めさせ、アメリカの関税自主権を奪ったこと 4. 日本に領事裁判権（治外法権）がなく、アメリカにのみ認められていたこと
- 問9 江戸時代に毛利氏が領主を務めた外様大名の藩で、1864年にイギリス、フランス、アメリカ、オランダの4か国連合艦隊によって下関の砲台を占領されるなどの経験を経て、倒幕運動の中心的役割を果たすようになった藩はどこですか。 (2021年 大阪府公立入試 類似)
1. 薩摩藩 2. 長州藩 3. 水戸藩 4. 松前藩
- 問10 1842年、アヘン戦争で清がイギリスに敗北したという情報を得た江戸幕府は、外国船を武力で追い払う従来の政策を廃止しました。このとき、日本に漂着した外国船に対して薪（燃料）や水、食料を供給し、穏やかに退去させることを命じた法令を何といいますか。 (2020年 茨城県公立入試 類似)
1. 薪水給与令 2. 鎖国令 3. 生類憐みの令 4. 武家諸法度
- 問11 1858年に、朝廷の許可（勅許）を得ないまま日米修好通商条約を締結し、さらに自身の政策に反対する大名や武士たちを「安政の大獄」で厳しく弾圧した大老が、1860年に江戸城の門外で暗殺された事件を何といいますか。 (2024年 山形県公立入試 類似)
1. 生麦事件 2. 蚕社の獄 3. 桜田門外の変 4. 禁門の変
- 問12 幕末の動乱期において、1858年の日米修好通商条約の締結から、1860年に大老の井伊直弼が暗殺される「桜田門外の変」が起こるまでの期間に、井伊直弼が反対派の武士らを厳しく処罰した出来事の名称として、正しいものはどれですか。 (2021年 千葉県公立入試 類似)
1. 安政の大獄 2. 生麦事件 3. 禁門の変 4. 大政奉還
- 問13 1867年、江戸幕府の第15代将軍であった徳川慶喜が、政権を朝廷に返上した出来事を何といいますか。 (2019年 千葉県公立入試 類似)
1. 廃藩置県 2. 王政復古の大号令 3. 版籍奉還 4. 大政奉還
- 問14 江戸幕府が1842年に出した、遭難した外国船に対して燃料や食料を与えて帰すように命じた法令の名称と、その法令が出る前の1825年に異国船を厳しく排斥するために出されていた法令の名称の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2018年 埼玉県公立入試 類似)
1. (1842年の法令) 異国船打払令 — (1825年の法令) 薪水給与令 2. (1842年の法令) 日米和親条約 — (1825年の法令) 異国船打払令 3. (1842年の法令) 薪水給与令 — (1825年の法令) 武家諸法度 4. (1842年の法令) 薪水給与令 — (1825年の法令) 異国船打払令

答え合わせ・解説

問1	答え 4 インド大反乱	1857年に始まったこの反乱は、イギリスの植民地支配に対するインド人兵士（シパーヒー）の不満が爆発したことで発生しました。反乱は兵士だけでなく、土地を奪われた農民や権限を失った藩王など、イギリスの支配に苦しんでいた幅広い層に広がり、インド全域におよぶ民族的な抵抗運動となりました。
問2	答え 3 朝廷の許可を得ずに日米修好通商条約を結んだから	日米修好通商条約の調印に際し、孝明天皇は反対の意向を示していましたが、大老の井伊直弼は朝廷の許可（勅許）を得ないまま調印を断行しました。この違勅調印が、天皇を尊ぶ「尊王」の思想を持つ人々からの激しい怒りを買ひ、倒幕運動へとつながる尊王攘夷運動が激化しました。なお、日米和親条約はこれより前の1854年に結ばれた条約であり、井伊直弼が大老になる前の出来事です。
問3	答え 4 アヘン戦争	当時のアジアの大国であった清が、イギリスとのアヘン戦争に敗れたというニュースは、オランダ風説書などを通じて江戸幕府に大きな衝撃を与えました。幕府は、強力な軍事力を持つ西洋列強と武力で衝突することを避けるため、1825年から続けていた異国船打払令を緩め、穏健な対応へと方針を転換しました。
問4	答え 2 太平洋での捕鯨や中国との貿易のために、石炭や食料を補給する拠点を日本に確保したかったから。	当時のアメリカでは産業革命が進展しており、機械用の潤滑油や灯火用の油を得るための捕鯨が盛んでした。また、巨大市場である中国（清）との貿易も活発化しており、太平洋を横断する際の石炭や水、食料の補給基地として日本の港を開放させることがアメリカにとっての最優先課題でした。
問5	答え 2 蒸気船が航行を続けるために必要な石炭の補給地として、日本の港を開放すること。	アメリカは、アジア貿易においてヨーロッパ諸国に対して優位に立つため、時間短縮が可能な太平洋横断航路を重視しました。しかし、当時の蒸気船は燃費が悪く、長距離の航行には途中の港での石炭補給が不可欠であったため、日本に対して燃料補給拠点としての役割を強く求めました。
問6	答え 1 工場の機械化により生産力は飛躍的に向上したが、資本家と労働者の間に大きな格差が生じ、不衛生な住環境や児童労働が深刻な問題となった。	産業革命は人々の生活を便利にしましたが、同時に多くの社会的矛盾を生み出しました。資本家は利益を追求するために労働者を安く長時間働かせ、都市部では急激な人口流入によりスラム化が進むなど、深刻な社会問題が発生しました。こうした状況を解決しようとする動きが、後の社会主義思想や労働立法へとつながっていきます。
問7	答え 4 外国の侵略に対する備えが必要であるという認識が広まり、国防意識が高まる契機となった。	アヘン戦争において、当時大国と考えられていた清が近代的な軍事力を持つイギリスに敗北した事実は、江戸時代の日本に強い危機感を与えました。これにより、従来の異国船打払令を緩めて燃料や食料を与える薪水給与令を出す一方で、沿岸警備の強化や西洋式の軍事技術の導入など、外国の侵略に備える動きが本格化しました。
問8	答え 1 アメリカに領事裁判権（治外法権）を認め、日本に関税自主権がなかったこと	この条約では、日本国内でアメリカ人が罪を犯してもアメリカの領事が裁く「領事裁判権」を認め、さらに日本が輸入品に対して自由に税率を決める権利である「関税自主権」が認められていませんでした。これらの条項を改正することは、明治政府の外交における最優先課題となりました。
問9	答え 2 長州藩	毛利氏を藩主とする長州藩は、関ヶ原の戦い以降、徳川家から遠ざけられた外様大名の立場にありました。幕末には激しい攘夷運動を展開しましたが、下関事件で連合艦隊に敗北したことで、攘夷の不可能性を認識します。その後、藩の軍制を近代化し、同じく有力な外様大名であった薩摩藩と協力して、江戸幕府を倒す運動を強力に主導しました。
問10	答え 1 薪水給与令	幕府は清の敗北を通じて、西洋の軍事力を背景とした開国の圧力を察知しました。それまでの「異国船打払令」を継続することでイギリスなどの強国を刺激し、日本が戦争に巻き込まれることを防ぐ目的で「薪水給与令」が出されました。これにより、日本の対外政策は一時的に柔軟化することとなりました。
問11	答え 3 桜田門外の変	大老の井伊直弼は、独断での条約締結や反対勢力の処罰といった強硬な政治を行いました。これに激憤した水戸藩の元藩士らによって暗殺されました。この事件により、幕府の権威は大きく失墜し、幕末の動乱が加速することとなりました。
問12	答え 1 安政の大獄	日米修好通商条約の締結強行に対する批判を封じ込めるために行われた出来事です。この強硬な弾圧は尊王攘夷派の激しい怒りを買ひ、のちに江戸城の桜田門外で井伊直弼が暗殺されるきっかけとなりました。
問13	答え 4 大政奉還	幕府の権威が失墜し、薩摩藩や長州藩による武力倒幕の動きが強まる中、徳川慶喜は自ら政権を朝廷に返すことで倒幕の機運をそらそうとしました。これが大政奉還です。その後、倒幕派の主導によって天皇中心の新政府を樹立することを宣言した「王政復古の大号令」が出されることとなります。
問14	答え 4 （1842年の法令）薪水給与令 —（1825年の法令）異国船打払令	1825年に出された「異国船打払令」は、日本に接近する外国船を理由を問わず砲撃して追い払うというものでした。その後、清がアヘン戦争で敗北したことを受け、幕府は1842年に「薪水給与令（天保の薪水給与令）」を出し、漂着した船に薪（燃料）や水、食料を提供して穏やかに退去させる方針へと変更しました。ペリーの来航はこの11年後の1853年です。

- 問1 19世紀、イギリスはインドを介して清（中国）と貿易を行う「三角貿易」の体制を築きました。イギリスからインドへは綿織物が、インドから清へはアヘンが、清からイギリスへは茶や絹がそれぞれ輸出されていましたが、これらの一連の取引において、代金の決済手段として清から流出し、最終的にイギリスへ渡っていたものは何か、次の中から選びなさい。（2020年 北海道公立入試 類似）
1. 銀 2. 銅 3. 金 4. 香辛料
- 問2 19世紀半ばのアメリカ合衆国では、北部と南部の間で対立が深まり、南北戦争が勃発しました。この対立のうち、当時の「南部」の主張や状況を正しく説明しているものはどれですか。（2020年 三重県公立入試 類似）
1. 綿花の輸出を促進し、イギリスなどから安価な工業製品を輸入するために自由貿易を求めた。 2. 連邦政府の権限を強めることで、国家の一体性を維持しようとする中央集権的な考えを持っていた。 3. 人道的立場や工業における労働力確保の観点から、奴隷制の廃止を強く主張した。 4. 自国の工業製品を外国の競争から守るため、輸入品に関税をかける保護貿易を求めた。
- 問3 イギリスが清に対してアヘン戦争を仕掛ける背景となった、当時の貿易状況を説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2019年 佐賀県公立入試 類似）
1. 清がイギリスとの自由貿易を求めて開国を迫ったのに対し、自国産業を保護したいイギリスが拒否して開戦した。 2. イギリスが自国の工業製品を清に売るため、清の特産品であったアヘンの輸入を禁止しようとした。 3. 清がイギリスから綿織物を大量に輸入したため、貿易赤字に苦しんだイギリスが武力で市場を広げようとした。 4. イギリスが輸入する茶の代金として支払う銀が不足し、その回収のためにアヘンを密輸した。
- 問4 倒幕運動が激化する過程で、それまで対立関係にあった薩摩藩と長州藩が、坂本龍馬らの仲立ちによって結んだ協力関係のことを何と言いますか。（2026年 愛知県公立入試 類似）
1. 日英同盟 2. 薩長同盟 3. 日米和親条約 4. 尊王攘夷運動
- 問5 南北戦争が始まる前の時期における、アメリカ北部の主張や状況として正しいものはどれですか。（2026年 栃木県公立入試 類似）
1. 自国の工業を発展させるために保護貿易を主張し、奴隷制には反対していた 2. 綿花を輸出するために自由貿易を主張し、奴隷制の維持を求めている 3. 金本位制の導入をめぐって、西部の農民と激しく対立していた 4. イギリスからの独立を勝ち取るために、フランスと軍事同盟を結んでいた
- 問6 1837年、日本人漂流民の帰還と通商を求めて来航したアメリカの商船を、幕府が「異国船打払令」に基づいて砲撃したモリソン号事件が起きました。この幕府の対応を批判し、後に「蚕社の獄」と呼ばれる弾圧を受けた蘭学者の組み合わせとして、正しいものを選びなさい。（2021年 愛媛県公立入試 類似）
1. 高野長英・渡辺崋山 2. 杉田玄白・前野良沢 3. 本多利明・佐藤信淵 4. 緒方洪庵・福澤諭吉
- 問7 1853年、アメリカ東インド艦隊の司令長官として4隻の軍艦（黒船）を率いて浦賀に来航し、江戸幕府に対して正式に開国を要求した人物は誰ですか。（2024年 山梨県公立入試 類似）
1. オールコック 2. ハリス 3. マッカーサー 4. ペリー
- 問8 明治政府が長年取り組んだ「条約改正」の大きな目的は、幕末に結ばれた不平等条約の内容を改めることでした。このうち、「関税自主権がない」ことによって日本が受けた経済的な影響について、最も適切な説明はどれですか。（2015年 長野県公立入試 類似）
1. 安価な外国製品が大量に流入した際、高い関税をかけて国内産業を保護することができなかった。 2. 日本で商売を行う外国人に対して、日本政府が所得税などの直接税を課すことが禁止された。 3. 外国から軍艦や機械を購入する際、相手国から多額の賠償金を請求されることになった。 4. 海外へ日本の製品を輸出する際、相手国から不当に高い関税をかけられ、貿易赤字が拡大した。
- 問9 1854年に江戸幕府がアメリカと締結した日米和親条約の内容について、その特徴や背景を正しく説明しているものを選びなさい。（2026年 岐阜県公立入試 類似）
1. 鎖国を終結させ、アメリカ船に対して薪水や食料などの補給を認めたが、貿易を許可する条項は含まれていなかった。 2. アメリカに領事裁判権を認め、日本側に修正の権利がない関税自主権の欠如といった、不平等な貿易条件を定めた。 3. 長崎、横浜、新潟、兵庫などの港を新たに開くことで、アメリカとの自由な民間貿易を全面的に開始した。 4. アメリカ大統領の国書を受け取った幕府が、朝廷から条約締結の許可である「勅許」を得た上で正式に調印した。
- 問10 幕末の貿易統計によると、1865年の輸出総額のうち約8割を生糸が占めるほど輸出が急増していました。このように特定の品目の輸出が短期間に激増したことが、当時の日本国内の経済に与えた影響として最も適切な説明を選びなさい。（2018年 富山県公立入試 類似）
1. 綿糸の輸出も同時に増えたため、綿織物業が急速に発展した 2. 国内で生糸が品不足となり、物価が激しく上昇した 3. 海外から安価な生糸が大量に流入し、養蚕農家が大きな打撃を受けた 4. 生糸が大量に売れ残ったため、国内の物価が急落した
- 問11 幕末の開国に関して、ペリー来航翌年の1854年に結ばれた条約名と、その条約によって開港が決定された北海道の都市の組み合わせとして正しいものはどれか。（2017年 北海道公立入試 類似）
1. 日米修好通商条約 ― 小樽市 2. 日米和親条約 ― 小樽市 3. 日米修好通商条約 ― 函館市 4. 日米和親条約 ― 函館市
- 問12 幕末の開国に伴い、産業革命を経たイギリスから安価な綿織物が大量に輸入されるようになったことで、日本国内の経済や社会にどのような影響を与えましたか。その理由や背景を含めて説明した記述として、最も適切なものを選択してください。（2021年 三重県公立入試 類似）
1. アメリカ合衆国が国内の南北戦争により輸出を停止したため、日本国内では一時的に綿織物が不足し、物価の安定に寄与した。 2. 通商条約によって関税が日本側に有利に設定されていたため、安価な輸入品の増加が国内産業の近代化を促す好機となった。 3. 機械生産による安価な製品が流入したことで、手作業に頼っていた日本国内の綿作や綿織物業などの伝統的な産業が大きな打撃を受けた。 4. イギリス産の綿織物が高級品として普及したため、対抗して国内の綿花生産者が大幅に増産を行い、輸出額が急増した。
- 問13 19世紀前半、江戸幕府は日本の沿岸に近づく外国船を無差別に追い返す「異国船打払令」を出していましたが、1842年には方針を転換し、薪や水、食料を与えて帰帆させる「薪水給与令」を出しました。幕府がこのような方針転換を行う直接的な背景となった、清がイギリスに敗北した出来事を選択肢から選びなさい。（2020年 静岡県公立入試 類似）
1. アヘン戦争 2. 日清戦争 3. 辛亥革命 4. 矢面事件（アロー戦争）

答え合わせ・解説

問1	答え 1 銀	19世紀のイギリスは清から茶や絹を大量に輸入したため、大幅な貿易赤字に陥っていました。これを解消するため、イギリスは植民地であるインドでアヘンを栽培させて清へ密輸出させ、その代金として清から支払われた銀を回収することで、自国の貿易赤字を補填しました。この銀の流出は清の経済に大きな打撃を与え、アヘン戦争へとつながる要因となりました。
問2	答え 1 綿花の輸出を促進し、イギリスなどから安価な工業製品を輸入するために自由貿易を求めた。	当時のアメリカ南部は広大な農場での綿花栽培を主産業としており、主な輸出先であるイギリスとの取引を円滑にするため、関税のない自由貿易を求めています。これに対し、工業化を進めていた北部は、安価なイギリス製品から国内産業を守るために保護貿易を主張しており、経済政策をめぐる対立が南北戦争の大きな要因の一つとなりました。
問3	答え 4 イギリスが輸入する茶の代金として支払う銀が不足し、その回収のためにアヘンを密輸した。	当時のイギリスは清から大量の茶を輸入していましたが、清に売るものがないため大量の銀が清へ流出していました。この貿易赤字を解消するため、イギリスは植民地のインドで生産させたアヘンを清に密輸し、茶の代金として支払った銀を回収する「三角貿易」の仕組みを作りました。清がこのアヘンを厳しく取り締まったことが、アヘン戦争の直接のきっかけとなりました。
問4	答え 2 薩長同盟	幕府を打倒するために、土佐藩出身の坂本龍馬や中岡慎太郎の仲介により、長州藩の木戸孝允（桂小五郎）と薩摩藩の西郷隆盛らが軍事同盟を結びました。この提携が大きな力となり、後の大政奉還や明治維新の達成へとつながりました。
問5	答え 1 自国の工業を発展させるために保護貿易を主張し、奴隷制には反対していた	北部は商工業が発達していたため、イギリスなどの製品に高い関税をかけて国内産業を守る「保護貿易」を求めています。また、工場で働く自由な労働力を確保する観点からも、奴隷制には反対の立場をとっていました。
問6	答え 1 高野長英・渡辺華山	1825年に出された異国船打払令により、幕府は近づく外国船を無差別に攻撃する方針をとっていました。しかし、モリソン号が非武装の商船であり、日本人を送り届けようとしていたことが判明すると、高野長英は『戊戌夢物語』、渡辺華山は『慎機論』を著して幕府の硬直した政策を批判しました。幕府はこれに対し、彼らを捉えて厳しく処罰しました。
問7	答え 4 ペリー	19世紀半ば、アメリカは北太平洋での捕鯨船の補給基地や、中国との貿易の中継地点を確保するために日本に接近しました。1853年に神奈川県の大浦に来航した人物はペリーであり、翌1854年に再び来航して日米和親条約を締結しました。ハリスは1856年に下田に着任した初代総領事であり、日米修好通商条約の交渉を行った人物です。
問8	答え 1 安価な外国製品が大量に流入した際、高い関税をかけて国内産業を保護することができなかった。	関税自主権がないということは、自国の産業を守るために輸入品の価格を調整する手段を奪われていることを意味します。当時、安価な綿製品などが欧米から大量に入ってきた際、日本は高い関税をかけてそれに対抗することができず、国内の綿織物業などが打撃を受ける原因となりました。賠償金や領土の割譲は、後の日清戦争などの講和条約で見られる内容であり、不平等条約の基本内容とは異なります。
問9	答え 1 鎖国を終結させ、アメリカ船に対して薪水や食料などの補給を認めたが、貿易を許可する条項は含まれていなかった。	日米和親条約は、遭難したアメリカ船の救護や、船舶への薪水・食料の供給を目的として結ばれました。これにより江戸時代の「鎖国」体制は事実上崩壊しましたが、この段階ではまだ貿易の開始は合意されていません。本格的な貿易や、領事裁判権・関税自主権といった不平等な条項が盛り込まれたのは、4年後の1858年に結ばれた日米修好通商条約です。
問10	答え 2 国内で生糸が品不足となり、物価が激しく上昇した	生糸などの国内製品が大量に輸出されたことで、日本国内では商品が不足し、物価の著しい上昇を招いて庶民の生活を圧迫しました。幕府はこれに対抗するため、生糸を含む5つの品目（生糸、雑穀、蠟、呉服、油）を必ず江戸の間屋を経由させてから輸出させる「五品江戸回送令」を出しましたが、地方の生産者や商人がこれに反対したため、十分な効果を上げることはできませんでした。
問11	答え 4 日米和親条約 ― 函館市	1854年に結ばれたのは日米和親条約であり、これにより下田と函館が開港されました。日米修好通商条約は1858年に結ばれ、函館・神奈川・長崎・兵庫・新潟の5港を開港場とすることが定められました。小樽市は開拓使による開発などで発展した港町であり、これらの条約による開港地ではありません。
問12	答え 3 機械生産による安価な製品が流入したことで、手作業に頼っていた日本国内の綿作や綿織物業などの伝統的な産業が大きな打撃を受けた。	イギリスは産業革命によって、綿織物の大量生産と低価格化を実現していました。こうした安価な製品が通商条約に基づいて日本に大量に流入した結果、それまで伝統的な手工業や農村の家内工業として行われていた日本の綿織物生産は、価格競争に敗れて産業の打撃を受けることとなりました。これは当時の日本の経済混乱や物価上昇の一因となりました。
問13	答え 1 アヘン戦争	江戸幕府は1825年に異国船打払令を出して強硬な姿勢をとっていましたが、1840年に始まったアヘン戦争で、当時アジアの大国であった清がイギリスの圧倒的な軍勢力の前に敗北した情報を得ました。この出来事に衝撃を受けた幕府は、西洋諸国との無用な武力衝突を避けるために政策を緩和し、遭難した外国船に補給を認める薪水給与令を出して、対外政策を軟化させました。

- 問1 19世紀前半、江戸幕府は日本に近づく外国船に対して、当初は砲撃して追い払う強硬な姿勢をとっていましたが、1842年にはその方針を大きく転換しました。この政策転換の背景となった国際的な状況と、転換後の対応について述べたものとして正しいものはどれですか。 (2019年 群馬県公立入試 類似)
1. 清がアヘン戦争でイギリスに敗れたことを知り、武力衝突を避けるため、外国船に薪や水を与えて穏やかに退去させる方針をとった。
2. 清がアヘン戦争でイギリスを撃退したことを知り、幕府も自信を深め、外国船をより徹底的に打ち払う方針を強化した。
3. 産業革命を成功させたロシアが南下政策を強めたため、幕府はロシアと軍事同盟を結び、イギリスやアメリカの船を攻撃させた。
4. アメリカのペリーが浦賀に来航して開国を強く迫ったため、幕府は即座にこれを受け入れ、すべての外国船を自由に寄港させた。
- 問2 独立後のアメリカ合衆国で制定された合衆国憲法において、権力の集中を防ぎ国民の自由を守るために採用された、国家権力を立法・行政・司法の三つに分ける仕組みを何と呼びますか。 (2025年 長野県公立入試 類似)
1. 三権分立
2. 議院内閣制
3. 直接民主制
4. 社会主義
- 問3 イギリスとインドの歴史的経緯をまとめた記録において、18世紀から19世紀にかけて、インドからイギリスへ綿織物を輸出する形から、逆にイギリスからインドへ綿製品が大量に流入する形へと貿易構造が変化しました。この変化をもたらした最大の要因として正しい説明を選びなさい。 (2023年 三重県公立入試 類似)
1. イギリスで産業革命が起こり、安価な機械製の綿製品が大量生産されるようになったため。
2. 東インド会社がインド全域での棉花栽培を中止し、食料増産を優先させたため。
3. フランスとの植民地抗争に勝利したイギリスが、インドの全港を封鎖したため。
4. インド大反乱の結果、イギリス政府がインドでの綿織物生産を法律で禁止したため。
- 問4 19世紀、イギリスは中国（清）からの茶の輸入超過による銀の流出を防ぐため、植民地のインドを介した「三角貿易」の仕組みを整えました。この貿易において、イギリスの貿易赤字を解消するためにインドから中国へ密輸出され、のちにアヘン戦争の原因となった品物はどれですか。 (2023年 山口県公立入試 類似)
1. 香辛料
2. アヘン
3. 綿織物
4. 絹
- 問5 1854年に締結された日米和親条約の内容と、その背景について説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2023年 長崎県公立入試 類似)
1. アメリカとの間で本格的な自由貿易を開始し、幕府が関税自主権を確保することを目的とした。
2. 外国船の排斥を定めた「異国船打払令」をさらに強化し、沿岸の警備を厳重にすることを目的とした。
3. 漂流民の救助や、船の航行に不可欠な薪水・食料を供給することを主な目的とした。
4. 長崎に加えて新たに下田・函館を開港し、キリスト教の布教を正式に許可することを目的とした。
- 問6 18世紀後半に産業革命を達成し「世界の工場」と呼ばれた国家の、地理的および歴史的な特徴についての説明として最も適切なものはどれか。なお、この国はヨーロッパの地図において、イタリア半島やイベリア半島よりも北西に位置する島国である。 (2016年 長崎県公立入試 類似)
1. アフリカ大陸の北西端に位置し、イスラム文化圏とヨーロッパ文化圏を結ぶ要所として機能していた。
2. 蒸気機関を利用した機械工業が発達し、1808年には軍艦が長崎へ侵入するなどの対外進出を強めた。
3. 15世紀末から大西洋を越えてアメリカ大陸への進出をいち早く進めたが、18世紀の産業革命の発生源ではない。
4. 地中海貿易の拠点として繁栄し、ルネサンスの文化が花開いたが、産業革命の開始は他国より遅れた。
- 問7 江戸幕府が結んだ日米修好通商条約が、なぜ「不平等条約」と呼ばれるのか、その制度上の理由を述べたものとして正しいものはどれですか。 (2025年 千葉県公立入試 類似)
1. アメリカの軍艦が日本の沿岸を自由に測量し、軍事基地を建設する権利を認めていたから。
2. 日本国内で罪を犯した外国人を、その国の領事が裁判する権利を日本側が認めていたから。
3. 日本が輸出品に対して自由に高い税率をかけ、アメリカの利益を損なう仕組みだったから。
4. 日本側がアメリカに対して、一方的に最恵国待遇を与えることが定められていたから。
- 問8 19世紀前半、江戸幕府は日本の沿岸に近づく外国船を無差別に追い返す「異国船打払令」を出していましたが、1842年には方針を転換し、薪や水、食料を与えて帰帆させる「薪水給与令」を出しました。幕府がこのような方針転換を行う直接的な背景となった、清がイギリスに敗北した出来事を選択肢から選びなさい。 (2020年 静岡県公立入試 類似)
1. 矢面事件（アロー戦争）
2. 辛亥革命
3. アヘン戦争
4. 日清戦争
- 問9 1858年、江戸幕府の老老である井伊直弼が、朝廷の許可（勅許）を得ないままアメリカと結んだ条約について、その内容と性質を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2025年 千葉県公立入試 類似)
1. 下田と箱館の2港を開港し、アメリカ船に食料や石炭を供給することを約束した。
2. アメリカに領事裁判権を認め、日本に関税自主権がない不平等な内容であった。
3. イギリスとの軍事同盟を結び、ロシアの南下政策に対抗することを目的とした。
4. 日本が清の独立を承認し、領事裁判権を相互に認め合う対等な内容であった。
- 問10 19世紀後半にプロイセン王国を中心に行われたドイツの統一について、その中心人物と統一の過程について述べた文として正しいものはどれですか。 (2021年 熊本県公立入試 類似)
1. 蒸気機関の改良による産業革命の進展に伴い、経済的な利害の一致のみを理由として自然に統合された。
2. 首相ビスマルクが「鉄血政策」と呼ばれる強力な軍備拡張を推進し、武力によって統一を成し遂げた。
3. ナポレオン1世がヨーロッパの広範囲を征服したことをきっかけに、各都市が自発的に統合して帝国となった。
4. 議会を中心とする話し合いによって、周辺諸国との平和的な話し合いを通じて全ドイツ連邦が統合された。
- 問11 幕末に佐賀藩や水戸藩、薩摩藩、韭山（伊豆）などで反射炉が建設された歴史的な背景や目的について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 佐賀県公立入試 類似)
1. 日露戦争に備えて、大型の軍艦を建造するための鋼鉄を国産化し、軍勢力を高めること
2. 外貨を獲得するために、生糸の品質を向上させて大量生産し、欧米諸国へ輸出すること
3. 開国によって混乱した貨幣制度を整えるために、金や銀を精錬して新しい硬貨を铸造すること
4. アヘン戦争での清の敗北などを背景に、沿岸防備を強化するための鉄製大砲を自前で製造すること
- 問12 1867年に第15代将軍の徳川慶喜が、政権を朝廷に返上する「大政奉還」を行った主な目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 岡山県公立入試 類似)
1. 全国の藩主から土地と人民を天皇に返還させ、天皇を頂点とした中央集権的な国家体制を直ちに完成させるため。
2. 鎖国体制を維持することが困難になったため、幕府を解体して全ての外交権を朝廷に委ね、外国勢力の排除を求めたため。
3. 倒幕派による武力行使の口実をなくし、徳川家が参加する形での新たな公議政体によって、引き続き政治の主導権を握ろうとしたため。
4. 戊辰戦争において旧幕府軍が新政府軍に敗北し、降伏の条件として朝廷から政権を譲り渡すよう要求されたため。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 清がアヘン戦争でイギリスに敗れたことを知り、武力衝突を避けるため、外国船に薪や水を与えて穏やかに退去させる方針をとった。	幕府は1825年に異国船打払令（無二念打払令）を出し、日本沿岸に近づく外国船を問答無用で攻撃していましたが、当時の先進的な軍事力を持つイギリスの蒸気船に対し、大国であった清がアヘン戦争で敗北したという知らせが届くと、幕府は大きな衝撃を受けました。強力な軍隊を持つ外国との無謀な衝突を避けるため、1842年に薪水給与令を出し、燃料である薪や水を与えて穏やかに退去させるという、以前よりも柔軟な外交方針へと変更しました。
問2	答え 1 三権分立	モンテスキューが『法の精神』で提唱した考え方に基づき、権力が一箇所に集中して独裁が行われるのを防ぐために導入されました。アメリカ合衆国は、この三権分立を厳格に取り入れた世界初の近代共和制国家となりました。大統領（行政）、連邦議会（立法）、裁判所（司法）がそれぞれ独立し、互いに抑制し合う仕組みになっています。
問3	答え 1 イギリスで産業革命が起こり、安価な機械製の綿製品が大量生産されるようになったため。	18世紀後半にイギリスで産業革命が進展すると、工場での機械生産によって安価な綿製品が大量に作られるようになりました。これにより、それまでイギリスが輸入していたインドの伝統的な手織り綿織物は競争力を失い、逆にイギリス製の綿製品がインド市場へ流入することとなりました。この経済的な打撃は、のちのインド大反乱の一因ともなっています。
問4	答え 2 アヘン	イギリスは当初、中国から茶や絹を大量に輸入していましたが、中国側がイギリス製品をあまり必要としなかったため、イギリスから中国へ大量の銀が流出していました。これを打開するため、イギリスは植民地であるインドでアヘンを栽培させ、それを中国へ密輸出させることで、代金として中国から銀を回収する仕組み（三角貿易）を構築しました。
問5	答え 3 漂流民の救助や、船の航行に不可欠な薪水・食料を供給することを主な目的とした。	アメリカが日本に開国を迫った背景には、北太平洋での捕鯨船の補給基地や、中国へ向かう蒸気船の寄港地を確保したいという狙いがありました。そのため、日米和親条約は「貿易」を目的としたものではなく、遭難した乗組員の保護や、燃料（薪）・水・食料の補給を認める内容が中心となっていました。本格的な貿易が認められるのは、1858年の日米修好通商条約を待つこととなります。
問6	答え 2 蒸気機関を利用した機械工業が発達し、1808年には軍艦が長崎へ侵入するなどの対外進出を強めた。	イギリスは18世紀後半に世界に先駆けて産業革命を達成し、圧倒的な経済力と軍事力を背景に世界各地に進出しました。日本に対しても、1808年のフェートン号事件を通じて圧力をかけ、それまでのオランダ中心の貿易体制を脅かしました。他の選択肢は、イタリア、スペイン、モロッコ（北アフリカ）の特徴を述べたものです。
問7	答え 2 日本国内で罪を犯した外国人を、その国の領事が裁判する権利を日本側が認めていたから。	不平等とされる最大の要因の一つは、領事裁判権（治外法権）の承認です。これにより、外国人が日本で犯罪を犯しても日本の法で裁くことができず、主権が侵害されている状態でした。もう一つの大きな要因は、関税自主権の欠如であり、日本が自国の産業を保護するために輸入品の税率を自由に決めることができなかった点が挙げられます。
問8	答え 3 アヘン戦争	江戸幕府は1825年に異国船打払令を出して強硬な姿勢をとっていましたが、1840年に始まったアヘン戦争で、当時アジアの大国であった清がイギリスの圧倒的な軍事力の前に敗北した情報を得ました。この出来事に衝撃を受けた幕府は、西洋諸国との無用な武力衝突を避けるために政策を緩和し、遭難した外国船に補給を認める薪水給与令を出して、対外政策を軟化させました。
問9	答え 2 アメリカに領事裁判権を認め、日本に関税自主権がない不平等な内容であった。	日米修好通商条約は、貿易を開始するために結ばれた条約ですが、日本に在留する外国人が罪を犯しても日本の法律で裁けない「領事裁判権（治外法権）」を認め、輸入品の関税率を自国で決める「関税自主権」が日本にないなど、日本にとって不利な不平等条約でした。井伊直弼が勅許を得ずに調印したことは、後の尊王攘夷運動を激化させる要因となりました。
問10	答え 2 首相ビスマルクが「鉄血政策」と呼ばれる強力な軍備拡張を推進し、武力によって統一を成し遂げた。	1862年にプロイセン王国の首相に就任したビスマルクは、ドイツの統一問題は言論ではなく「鉄（武器）と血（兵士）」によってのみ解決されると主張しました。この方針の下、プロイセンは軍備を増強し、デンマーク、オーストリア、そしてフランスとの戦争に勝利することで、1871年にドイツ帝国の成立を果たしました。
問11	答え 4 アヘン戦争での清の敗北などを背景に、沿岸防備を強化するための鉄製大砲を自前で製造すること	アヘン戦争で清がイギリスに敗れたニュースは当時の日本に大きな衝撃を与え、沿岸警備の強化が急がれました。それまでの青銅製の砲よりも射程や破壊力に優れた鉄製大砲を作るには、不純物の少ない鉄を高温で溶かす必要があり、そのための施設として反射炉が各地に築られました。生糸の輸出は明治初期、鉄鋼の国産化（八幡製鉄所）は明治後期、貨幣制度の整備は明治政府による円の導入などが該当するため、時期や目的が異なります。
問12	答え 3 倒幕派による武力行使の口実をなくし、徳川家が参加する形での新たな公議政体によって、引き続き政治の主導権を握ろうとしたため。	徳川慶喜は、土佐藩などの提案を受け入れ、形式的に政権を朝廷に返すことで、武力討伐を目指していた薩摩・長州藩の機先を制しようとした。これは、内戦を回避すると同時に、有力諸藩の会議の中で徳川家が依然として有力な政治勢力として残ることを狙った高度な政治的戦略でした。戊辰戦争は、大政奉還の後に倒幕派が王政復古の号令を発し、徳川家を排除しようとしたことから始まります。

- 問1 19世紀、イギリスはインドを介して清（中国）と貿易を行う「三角貿易」の体制を築きました。イギリスからインドへは綿織物が、インドから清へはアヘンが、清からイギリスへは茶や絹がそれぞれ輸出されていましたが、これらの一連の取引において、代金の決済手段として清から流出し、最終的にイギリスへ渡っていたものは何か、次の中から選びなさい。（2020年 北海道公立入試 類似）
1. 銅 2. 金 3. 香辛料 4. 銀
- 問2 大政奉還から王政復古の一大号令に至る歴史的な背景について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2020年 鹿児島県公立入試 類似）
1. 明治天皇が神に新しい政治の基本方針を誓うことで、広く公議を重んじ、知識を世界に求める姿勢を国内外に示した。
2. 徳川慶喜は政権を返したあと有力者として政治に参加しようとしたが、倒幕派は武力を用いてでも徳川氏を完全に排除しようとした。
3. 欧米諸国との不平等条約を改正するために、それまでの封建的な身分制度を打破し、四民平等の社会を築こうとした。
4. 中央集権国家を確立するため、各地の藩主に対し、それまで領有していた土地と人民を天皇に返還させるよう命じた。
- 問3 1858年に日米修好通商条約が締結された後、幕府の政策に強く反対した尊王攘夷派の武士や公家に対し、大老の井伊直弼が行った大規模な処罰を何といいますか。（2021年 千葉県公立入試 類似）
1. 蛮社の獄 2. 安政の大獄 3. 天保の改革 4. 桜田門外の変
- 問4 1858年に結ばれた条約に基づき、日本地図上において江戸に近い位置にあり、当時「神奈川」として開港が予定されながらも、実際には隣接する村が整備されて開港場となった現在の都市名を次の中から選びなさい。（2017年 茨城県公立入試 類似）
1. 横浜 2. 神戸 3. 下田 4. 函館
- 問5 1858年に江戸幕府がアメリカと結んだ日米修好通商条約の内容において、日本が「関税自主権（かんぜいじしゅけん）」を持たない不平等な条約であったことを示す記述として、最も適切なものを選びなさい。（2019年 千葉県公立入試 類似）
1. 日本国内で罪を犯したアメリカ人を、日本の法律で裁くことができない。
2. 日本が輸入品にかかる税率を、自国の判断で決定することができない。
3. 下田や箱館などの港をアメリカに開放し、燃料や食料を供給する。
4. 他国に対して与えた最も有利な条件を、アメリカにも自動的に与える。
- 問6 19世紀のイギリスにおいて、産業革命の進展にともない発生した社会状況の説明として、背景や因果関係が最も正しいものはどれですか。（2025年 宮城県公立入試 類似）
1. 世界恐慌の影響で失業者が急増したため、労働者は政府主導の公共事業に従事することで、労働組合を解散して国家の近代化に協力した。
2. ルネサンスによる人間中心の考え方が普及した結果、労働者の権利が法律で即座に保護され、産業革命の初期から安定した生活が送られた。
3. 宗教改革によって教会の権威が低下したことで、労働者は伝統的な生活習慣を捨て、都市部から農村部へと大規模な移住を開始した。
4. 工場の機械化により生産力は飛躍的に向上したが、資本家と労働者の間に大きな格差が生じ、不衛生な住環境や児童労働が深刻な問題となった。
- 問7 19世紀、イギリスは清との貿易における銀の流出と赤字を解消するため、インドを含めた「三角貿易」の仕組みを構築しました。この貿易において、インドから清へ輸出された品物はどれですか。（2021年 長野県公立入試 類似）
1. 茶 2. アヘン 3. 香辛料 4. 綿織物
- 問8 一八五三年に、マシュー・ペリー率いるアメリカの東インド艦隊が、江戸幕府に開国を求める親書を携えて来航した場所はどこですか。相模湾に面した三浦半島の先端付近に位置する、当時の外交上の重要地点の名称を答えなさい。（2022年 滋賀県公立入試 類似）
1. 浦賀 2. 下田 3. 函館 4. 長崎
- 問9 1858年に結ばれた日米修好通商条約は、日本にとって不平等な内容を含んでいました。その不平等な点についての説明として正しいものはどれですか。（2020年 香川県公立入試 類似）
1. 日本がアメリカ人の犯罪を日本の法律で裁く権利を確立したが、日本国内の関税をアメリカの同意なしに変更できなかった。
2. 日本がアメリカから「最恵国待遇」を一方的に受ける代わりに、アメリカにのみ自由な貿易拠点としての港を提供した。
3. 外国人が日本で罪を犯しても日本の法律で裁けない「領事裁判権」を認め、日本に「関税自主権」がなかった。
4. 日本がアメリカに対して領事裁判権を行使できる一方で、アメリカ側に輸出入の関税を決定する権利を認めた。
- 問10 1858年に大老の井伊直弼が勅許を得ないままアメリカと結び、函館や横浜などの港を開いて自由貿易を行うことを定めた条約の名称として正しいものを選んでください。（2026年 京都府公立入試 類似）
1. 下関条約 2. 日米和親条約 3. 日米修好通商条約 4. 日米安全保障条約
- 問11 明治政府が長年取り組んだ「条約改正」の大きな目的は、幕末に結ばれた不平等条約の内容を改めることでした。このうち、「関税自主権がない」ことによって日本が受けた経済的な影響について、最も適切な説明はどれですか。（2015年 長野県公立入試 類似）
1. 日本で商売を行う外国人に対して、日本政府が所得税などの直接税を課することが禁止された。
2. 外国から軍艦や機械を購入する際、相手国から多額の賠償金を請求されることになった。
3. 海外へ日本の製品を輸出する際、相手国から不当に高い関税をかけられ、貿易赤字が拡大した。
4. 安価な外国製品が大量に流入した際、高い関税をかけて国内産業を保護することができなかった。
- 問12 1860年の横浜港における輸出額の統計では、ある品目が全体の約66パーセントという圧倒的な割合を占めていました。この品目の輸出が急増したことで、当時の国内経済にどのような影響を与えましたか。（2026年 三重県公立入試 類似）
1. 綿糸の輸出量が増えたことで、国内の綿製品の価格が大幅に下落し、一般庶民の生活水準が向上した。
2. 生糸の輸出が盛んになったことで、国内での供給が不足して原料の価格上昇を招き、絹織物業者に打撃を与えた。
3. 茶の輸出が急増したことで、農村での生産が拡大し、綿織物業者が新たな事業として絹織物生産に参入した。
4. 米の輸出が制限なく行われたことで、都市部の米価が安定し、幕府の財政再建が成功した。
- 問13 1860年に江戸城の桜田門外において、水戸藩などの元浪士らが大老の井伊直弼を暗殺する「桜田門外の変」が発生しました。この事件が起きる直接的なきっかけとなった、井伊直弼が日米修好通商条約の締結や将軍継嗣問題に反対する人々を厳しく処罰した出来事を何といいますか。（2020年 徳島県公立入試 類似）
1. 安政の大獄 2. 大政奉還 3. 薩長同盟 4. 生麦事件

答え合わせ・解説

問1	答え 4 銀	19世紀のイギリスは清から茶や絹を大量に輸入したため、大幅な貿易赤字に陥っていました。これを解消するため、イギリスは植民地であるインドでアヘンを栽培させて清へ密輸出させ、その代金として清から支払われた銀を回収することで、自国の貿易赤字を補填しました。この銀の流出は清の経済に大きな打撃を与え、アヘン戦争へとつながる要因となりました。
問2	答え 2 徳川慶喜は政権を返したあとも有力者として政治に参加しようとしたが、倒幕派は武力を用いてでも徳川氏を完全に排除しようとした。	大政奉還は徳川慶喜が主導権を握り続けるための策でもありましたが、これに対して岩倉具視や薩摩・長州の両藩は、天皇を中心とした強力な中央集権体制を作るために、旧幕府の権力を完全に絶つ宣言を行いました。これが王政復古の大号令です。他の選択肢は五箇条の御誓文、版籍奉還、四民平等の説明に該当します。
問3	答え 2 安政の大獄	大老の井伊直弼が、将軍の世継ぎ問題や、天皇の許しを得ないまま条約を締結したことに反対する勢力を弾圧した事件です。この処罰によって吉田松陰や橋本左内といった多くの志士たちが処刑されました。
問4	答え 1 横浜	日米修好通商条約で定められた開港場の一つです。幕府は、東海道の宿場町として賑わっていた神奈川（現在の横浜市神奈川区周辺）を外国人と接触させることを避け、対岸の横浜村を整備して開港場としました。これが現在の横浜港の発展につながりました。
問5	答え 2 日本が輸入品にかかる税率を、自国の判断で決定することができない。	関税とは、国内の産業を保護するなどの目的で輸入品に対して課される税金のことです。日米修好通商条約では、この関税の率を日本側が自由に決められず、相手国との協議によって決めることとされました。これにより、安価な外国製品が大量に流入した場合でも高い関税をかけて国内製品を守ることが難しくなり、日本の経済に大きな影響を与える要因となりました。
問6	答え 4 工場の機械化により生産力は飛躍的に向上したが、資本家と労働者の間に大きな格差が生じ、不衛生な住環境や児童労働が深刻な問題となった。	産業革命は人々の生活を便利にしましたが、同時に多くの社会的矛盾を生み出しました。資本家は利益を追求するために労働者を安く長時間働かせ、都市部では急激な人口流入によりスラム化が進むなど、深刻な社会問題が発生しました。こうした状況を解決しようとする動きが、後の社会主義思想や労働立法へとつながっていきます。
問7	答え 2 アヘン	イギリスは自国の赤字を解消するため、植民地であるインドで「アヘン」を栽培させ、これを清へ輸出しました。アヘンの代金として清から銀を回収し、その銀を茶の買い付け代金に充てることで、イギリスは貿易収支を好転させようしました。
問8	答え 1 浦賀	当時のアメリカは、中国との貿易を拡大させる過程で、太平洋を横断する蒸気船の中継地（石炭や水の補給拠点）や、捕鯨船の保護を目的として日本の開国を求めています。ペリーは、江戸に近い三浦半島の浦賀に黒船で現れることで、幕府に強力な軍事的圧力をかけ、長年の鎖国政策を転換させる契機となりました。
問9	答え 3 外国人が日本で罪を犯しても日本の法律で裁けない「領事裁判権」を認め、日本に「関税自主権」がなかった。	この条約では、日本国内で罪を犯した外国人をその国の領事が裁く「領事裁判権（治外法権）」を認めさせられ、さらに日本側が輸入品にかかる税率を自主的に決める「関税自主権」が認められていませんでした。これらの条項の改正は、明治政府の長年の課題となりました。
問10	答え 3 日米修好通商条約	1854年に結ばれた日米和親条約では薪水の供給や寄港を認めるにとどまっていますが、1858年のこの条約によって、横浜、長崎、新潟、兵庫（神戸）などの港を新たに開くことや、アメリカとの本格的な貿易の開始が決定しました。天皇の許しを得ずに調印したことは、のちの尊王攘夷運動を激化させる要因となりました。
問11	答え 4 安価な外国製品が大量に流入した際、高い関税をかけて国内産業を保護することができなかった。	関税自主権がないということは、自国の産業を守るために輸入品の価格を調整する手段を奪われていることを意味します。当時、安価な綿製品などが欧米から大量に入ってきた際、日本は高い関税をかけてそれに対抗することができず、国内の綿織物業などが打撃を受ける原因となりました。賠償金や領土の割譲は、後の日清戦争などの講和条約で見られる内容であり、不平等条約の基本内容とは異なります。
問12	答え 2 生糸の輸出が盛んになったことで、国内での供給が不足して原料の価格上昇を招き、絹織物業者に打撃を与えた。	幕末の開港後、日本の生糸は国際市場での需要が高かったため、横浜港からの輸出額の大部分を占める最大の輸出商品となりました。しかし、大量の生糸が海外へ流出したことで国内市場では深刻な生糸不足に陥りました。その結果、原料となる生糸の価格が急騰し、それまで国内向けに生産していた絹織物業者が原料を調達できなくなるなどの深刻な影響を受けました。
問13	答え 1 安政の大獄	江戸幕府の大老に就任した井伊直弼は、天皇の許可（勅許）を得ないまま日米修好通商条約を締結し、さらに将軍の跡継ぎ問題でも強硬な姿勢を貫きました。これらの政治手法に批判的な声を上げた公家や大名、吉田松陰などの志士らを厳しく弾圧したのが安政の大獄です。この弾圧に対する激しい反発が、のちの桜田門外の変を引き起こす要因となりました。

(2021年 熊本県公立入試 類似)

- (2024年 千葉県公立入試 類似)

- (2023年 愛媛県公立入試 類似)

- (2019年 山形県公立入試 類似)

- (2017年 滋賀県公立入試 類似)

- (2020年 新潟県公立入試 類似)

- 岡山県公立入試 類似)

- (2022年 青森県公立入試 類似)

- (2026年 岐阜県公立入試 類似)

- (2015年 岡山県公立入試 類似)

- 千葉県公立入試 類似)

- (2021年 大阪府公立入試 類似)

- (2026年 山口県公立入試 類似)

- いちごドリルプリント

答え合わせ・解説

問1	答え 2 長州藩	下関海峡で外国船を砲撃し、のちに四国艦隊下関砲撃事件（下関戦争）を経験したのは長州藩です。長州藩は熱心に攘夷（外国を排斥すること）を唱えていましたが、この敗北によって武力による攘夷の不可能性を悟り、イギリスに接近して開国・倒幕へと藩の論理を転換させていくこととなります。なお、薩摩藩も同時期にイギリスと生麦事件の報復として薩英戦争を戦っていますが、四国艦隊と戦ったのは長州藩です。
問2	答え 1 自由貿易と奴隸制廃止を求める北部と、保護貿易と奴隸制維持を求める南部が対立し、大規模な内戦が展開された。	日本の幕末から明治維新にかけての時期（1860年代）は、アメリカでは南北戦争が戦われていた時期に相当します。北部はイギリス製品に対抗するため保護貿易を求めましたが、南部は原材料を輸出するため自由貿易を求めるなど、経済面でも対立がありました。他の選択肢は、18世紀のアメリカ独立戦争やフランス革命、17世紀のイギリスにおける名誉革命の説明です。
問3	答え 3 横浜	条約上では「神奈川」の開港が約束されていましたが、幕府は外国人と日本人（特に武士）の衝突を避けるため、東海道から少し離れた「横浜」に港を建設して開港しました。函館はすでに日米和親条約で開かれていましたが、日米修好通商条約による開港場としては、関東地方の横浜が最大の貿易拠点となりました。
問4	答え 2 外国の圧倒的な軍勢力を目の当たりにしたこと で攘夷の実行が不可能であることを認識し、藩の方針が倒幕へと転換するきっかけとなった。	長州藩は前年に外国船を砲撃して攘夷を実行していましたが、連合艦隊による報復攻撃で砲台が占領されるなど甚大な被害を受けました。この敗北を通じて、武力によって外国を排除する「攘夷」の不可能性を痛感した長州藩は、イギリスに接近するとともに、幕府を倒して新しい国家を作る「倒幕」へと方針を大きく転換させることになりました。
問5	答え 2 日米修好通商条約	1854年に結ばれた日米和親条約は開国（寄港地の提供）を目的としていましたが、1858年の日米修好通商条約は本格的な貿易の開始を目的とした条約です。この条約に基づき、日本は函館、神奈川（横浜）、長崎、兵庫、新潟の5港を開港しました。
問6	答え 3 領事裁判権（治外法権）	幕末に結ばれた一連の条約では、日本に欧米諸国のような近代的な法制度が整っていないことを理由に、外国人が日本で犯罪を犯しても日本の法律で裁くことができない仕組みが取り入れられました。これは日本の司法権を著しく侵害するものであったため、明治政府にとってこの権利の撤廃（条約改正）が国家の悲願となりました。
問7	答え 2 倒幕派による武力行使の口実をなくし、徳川家が参加する形での新たな公議政体によって、引き続き政治の主導権を握ろうとしたため。	徳川慶喜は、土佐藩などの提案を受け入れ、形式的に政権を朝廷に返すことで、武力討伐を目指していた薩摩・長州藩の機先を制しようとした。これは、内戦を回避すると同時に、有力諸藩の会議の中で徳川家が依然として有力な政治勢力として残ることを狙った高度な政治的戦略でした。戊辰戦争は、大政奉還の後に倒幕派が王政復古の号令を発し、徳川家を排除しようとしたことから始まります。
問8	答え 1 井伊直弼	1858年に大老となった井伊直弼は、反対派を押し切って日米修好通商条約に調印しました。この決定は尊王攘夷運動を激化させ、その後の安政の大獄や桜田門外の変へとつながりました。選択肢にある勝海舟は、この条約の批准書交換のために派遣された咸臨丸の艦長です。
問9	答え 1 北海道の箱館と、伊豆半島の先端付近に位置する下田	アメリカのペリーと江戸幕府が結んだ日米和親条約により、アメリカ船に薪水や食料を供給することを目的として、下田（静岡県）と箱館（北海道）の2港が開港されました。長崎は江戸時代を通じてオランダや清との貿易が行われていた港であり、この条約で新たに開かれたものではありません。また、横浜や兵庫などは後の1858年に結ばれた日米修好通商条約によって開港が決められた港です。
問10	答え 1 国内で奴隸制の是非や貿易政策をめぐる対立が激化し、1860年代には南北戦争という大きな内戦が起こった。	アメリカ合衆国が日本へペリーを派遣した時期は、国内で北部と南部の対立が非常に高まっていた時期にあたります。ペリー来航から数年後の1861年には南北戦争が勃発しました。この内戦の影響もあり、アメリカは幕末の日本に対して他国ほど強い軍事的関与を続けることができなくなりました。他の選択肢は、イギリス（アヘン戦争）、フランス（ナポレオン）、ドイツ（ワイマール憲法）に関する記述です。
問11	答え 3 香港	アヘン戦争の講和条約である南京条約により、清はイギリスに対して香港を割譲しました。また、この条約では上海や広州など5つの港を開港することも決められ、イギリスのアジア進出の重要な拠点となりました。台湾が割譲されたのは、のちの日清戦争後の下関条約（馬関条約）によるものです。
問12	答え 2 攘夷の不可能性を悟り、西洋の軍制や兵器を取り入れることで軍勢力を高め、倒幕を目指した。	長州藩は4か国連合艦隊との交戦（下関事件）を通じて、当時の日本と西洋諸国の圧倒的な軍勢力の差を痛感しました。これ以降、藩内では無謀な攘夷を避け、逆に西洋の進んだ軍事技術を積極的に導入して藩の武装を強化する方針が取られました。これがのちの奇兵隊の活躍や、薩長同盟を通じた倒幕運動の成功へとつながる大きな転換点となりました。
問13	答え 3 日本に領事裁判権を認めさせ、さらに関税の税率を日本が決めることができない関税自主権の欠如によって、外国製品が流入しやすい状況となった。	日米修好通商条約によって始まった自由貿易は、日本に不平等な条件を強いるものでした。特に「関税自主権がない」ことは、輸入品の税率を日本が決められないことを意味し、安価な綿製品などが大量に流入して国内産業に影響を与えました。一方で、こうした海外との交流や不平等条約の改正を目指す動きが、後の明治維新や、都市の西洋化（文明開化）といった社会の大きな変化を引き起こす要因となりました。